

平成27年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1 学校名	小城市立三日月小学校		
2 所在地	小城市三日月町長神田1680番地		
3 校長名	平田 繁正		
4 学級数 児童生徒数	28学級 812人	5 実施学年 児童生徒数	全学年 812人

6 取組のねらい

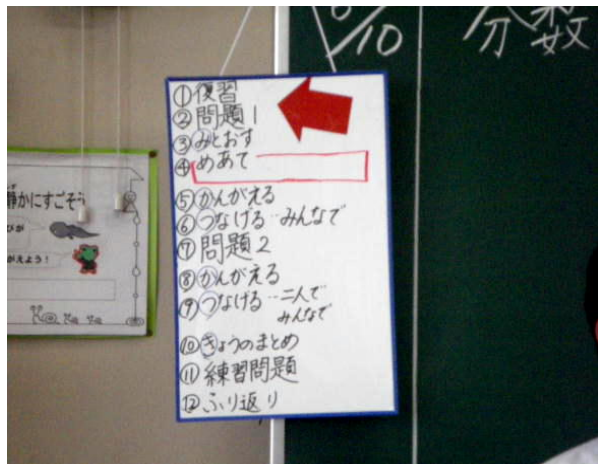
みんなが「できる」「わかる」「楽しい」授業づくりをめざしてUD（ユニバーサルデザイン）の考えを取り入れた取組や、子どもたちが交流を通して互いを理解し思いやりのある心を育てることねらいとしている。

7 取組の実際

- 教室の前面掲示をなくすなど刺激物を調整し、落ち着いて学習に取り組んだり、トイレのスリッパ並べや掃除の手順カードを作成し学校生活のルールの共通理解を図ったりした。
- 授業の中では、「5つのわかる化（構造化・視覚化・焦点化・明確化・選択化）」を意識した手だてを取り入れ、学習に取り組んでいる。
- 6年生では、1学期、総合的な学習の時間に1年生との交流を通して、お世話をしたり、小さい子の立場を考えて行動したりすることを学んでいる。
- 3年生では、2学期、総合的な学習の時間に「鳳寿苑」を訪問し、お年寄りとの交流を通して思いやりの心を育てている。
- ボランティア委員会では、プルタブ集めを通して車いすを高齢者施設にプレゼントするなどの相手意識をもって全児童への働きかけなど活動に積極的に取り組んでいる。



教室の前面から刺激物を排除



構造化（1時間の授業の流れを提示）



1年生の気持ちを考えた遊びの相談



交流活動の様子（花いちもんめ）



お年寄りへソーラン節を



肩を揉みながらインタビュー



ペットボトルキャップを集めて
車椅子をプレゼント

8 取組の成果と課題

- UD の考え方を取り入れた学習環境づくりや授業づくりは、課題を抱えた児童にとっては、無くてはならない支援であり、他の児童にも役に立つ支援となることが分かった。

- 本校の校内研究におけるUDの考えを取り入れた取組は、直接的な支援ではないけれど、学校生活を通して子ども達が、少しでもUDの考えに気づいてくれることが大切ではないかと考えている。
- 6年生にとっては、幼い1年生との交流を通して遊びの工夫など相手の気持ちや考えを思い図る心を育てることができた。
- 3年生は、「鳳寿苑」を訪問し、お年寄りとの交流を通して相手を思いやる心を育てたり、お年寄りへのインタビューから困っていることを聞き出し今自分たちでできることは何かを考えるたりする学習ができた。
- 毎年、ボランティア委員会では、高齢者の疑似体験を通して歩行が不自由な方への思いから、車椅子のプレゼントをするため、全校へのペットボトルキャップ集めを通して全校への啓発を行っている。